

平成 28 年度庄原市中学校合唱コンクール

【平成 28 年 11 月 15 日（火）：庄原市民会館大ホール】

「全市的な音楽活動の表現や鑑賞を通して、生徒の感性を高め、豊かな情操を育むとともに、同世代の一体感がふるさと愛につながる取り組みとすること」及び「目標に向かって切磋琢磨することを通して、音楽への興味関心や資質向上を図ること」をねらいとして実施しました。

主に3年生を対象とし、「5年後の成人式に、課題曲と一緒に歌うこと」も呼びかけました。

庄原市内全7中学校が一堂に会する合唱コンクールを開催しました。

各学校が、課題曲『時を越えて』（作詞・作曲：梶野 知子）と自由曲の2曲を披露しました。心をつなげて奏でるハーモニーや歌詞に込められた意味を表現して歌う姿に、各学校の特色や工夫がありました。



「歌声と共に気持ちもしっかり届けて歌った。」「各中学校それぞれの歌い方があり、美しい合唱だった。」など、生徒は、自分たちの合唱を振り返るとともに、お互いの合唱を称え合いました。

審査結果は
「最優秀賞」高野中学校
「特別賞」庄原中学校
となりました。



ふるさとで頑張っておられる地元コーラスグループ
「東城コールエコー」の皆様
歌声を披露していただきました。



♪会場の全員で課題曲を合唱しました♪
【指揮者・伴奏者：高野中学校】



【生徒の感想（アンケートより）】

- ・パートごとのバランスがどの学校もよくて、とてもきれいなハーモニーだった。
- ・合唱コンクールを通して、歌うことの楽しさを知り、心を一つにして気持ちよく歌うことができた。
- ・楽しかった。同年齢の人たちが集い、歌を歌って交流を深めるということは、大変素晴らしいことだと思った。
- ・今までで一番いい合唱ができたし、指揮者も伴奏者も含めてみんなが楽しく歌えたと感じた。
- ・大ホールで歌えることはほとんどないことなので、よい経験になった。
- ・同学年や他校生徒の本気の頑張りを見ることができた。
- ・他校の合唱を自分の学校と比較しながら聴くことができたので、よかった。一体感があり、表現の仕方がうまい学校が多かった。
- ・他校の合唱もとてもきれいだった。また、各中学校の課題曲「時を越えて」の合唱を聴くことで、自分達の課題を新たに見つけることができた。
- ・目標に向かって一生懸命歌うことができた。歌詞の意味を意識して歌えた。
- ・今まで校内でしか勝負をしたことがなかった。他の学校の生徒と合唱で勝負できたのでよかった。
- ・自分達の合唱が、市内でどのくらいのレベルなのか分かった。
- ・来年度は、優勝するためにもう少し音楽的表現を豊かに歌いたい。
- ・東城コールエコーの方たちは、喉がすごく開いていて、声がよく出ていた。すごくきれいな合唱で、びっくりした。東城コールエコーの方たちのように歌いたいと思った。
- ・東城コールエコーの方たちは、人数が少ないのにとっても響いた声だった。聴いていて、いい気持ちになった。体が揺れていて、歌っていて楽しそうだった。
- ・人数に応じた歌声や学校それぞれの特色が出ていて、よかった。
- ・緊張した。あまり声が出ず、納得のいく合唱にならなかったのが残念だった。

【来場者の感想（アンケートより）】

- ・子供達は、歌を通じて一つにまとまることを学び、大勢の前で歌うことで達成感を得ることができたと思う。(30代 保護者)
- ・昨年より合唱のレベルが上がっていると思った。(30代 市民, 50代 保護者)
- ・どの学校も素晴らしかった。人数の多少があり差が出るかと思ったが、全く感じず、とても素晴らしいハーモニーだった。特に自由曲がその学校に合う選曲をされていた。中学生の皆さんから、大きな力をいただいた。(40代 保護者)
- ・東城コールエコーの合唱が素晴らしかった。人数ではないと感じた。(40代 保護者)
- ・子供たちの歌声は、素晴らしかった。心にじーんと伝わってきて、涙がこみ上げてきた。東城コールエコーは、指揮者やピアノ伴奏者、合唱の歌声がさすがでした。(50代 保護者)
- ・市内の中学校が集まり交流ができ、また、保護者や地域の方も参加できる会として、とても良い会だと思った。(40代 保護者)
- ・高校3年生の娘が中学生の時には、残念ながら合唱コンクールはまだ開催されていなかった。歌ったことが宝になると思った。5年後の成人式の日、課題曲をぜひ歌ってほしい。この取組は、とても心のこもったアイデアだと思う。(50代 保護者)
- ・歌っているときの心を一つにした姿は、温かくて聴いていて感動したし、うれしく思った。それに、入退場の時のきれいな動作、聴いている態度が素晴らしかった。(50代 市民)
- ・子供達が一生懸命に歌う姿に感動した。一つ一つの学校に合った賞をあげたいと思った。(50代 市民)
- ・各学校の特色が出ていた。とても元気をもらい、澄んだ歌声に心が洗われた。来年もまた聞きにきたい。(60代 保護者)
- ・全体的に、アンサンブルでは美しくなっていると思った。(60代 市民)
- ・合唱を通して、庄原市の中学生としての一体感を感じた。改めて、庄原市の子供たちの素晴らしさを実感し、感動させてもらった。(60代 市民)
- ・中学生の一生懸命な表現には満足した。しかし、このレベルで満足してはいけない。もっと生徒の力を引き出してほしい。子供たちの感性を磨くのは教師である。音楽教師だけではできない。全職員が一丸となり県北の音楽を花開かせてほしい。(60代 市民)
- ・指揮者の動作の工夫が必要な学校があった。ピアノの音と合唱のバランスに気を配ると良いと思った。(70歳以上 市民)